

**2015年 司教年頭書簡**  
**心の貧しい人は幸い**  
～神の「貧しさ」を生きる パート2～

**2015年ブロック司教訪問の趣意書**

**1. 2015年の教区テーマ**

今年 2014 年の年頭書簡は、教皇フランシスコの「貧しさ」のメッセージ：「私は、貧しい人々による、貧しい人々のための教会を望む」から示唆を受けて、教区のテーマに「貧しさ」を選びました。年頭書簡のタイトルは、「神の『貧しさ』を生きる ～ 貧しい人々への優先的選択 (Option for the poor) ～」でした。

来年の年頭書簡は、パート2として、「心の貧しい人は幸い」といたします。

母国アルゼンチンで、貧しい人のための司牧に献身してきた教皇フランシスコは、教皇就任以来、「貧しい人のための、貧しい教会になろう」と呼びかけておられます。宣教の基本は、宣教者が自ら告げ知らせる福音を、自ら忠実に生きることです。教皇はこれを、ご自身の内面からほとぼしり出る輝き、福音に基づく謙遜、教皇としての簡素な生活、近づきやすいふる舞いでもって、無言のうちに示しておられます。

現代のキリスト教は、世界が貧困に直面しているのに、「貧しい人たちを無視して、自分たちだけが救われるような宗教でいいのか」という深刻な問いを突き付けられています。「フランシスコ」という名は、教皇が、貧しい人々、素朴な人々の近くにいるという一体感と、教会刷新への使命感を感じさせます。そして、教皇は福音の喜びを全ての人々にもたらしするために、「出向いていく教会」になろうと呼びかけておられます。それは、出向いていく姿勢・活力をもった出動態勢にある教会です。わたしたちキリスト者は、自分にとって快適な場所から出て行って、福音の光を必要としている、隅に追いやられたすべての人に、それを届ける勇気をもつよう招かれています（『福音の喜び』20 参照）。

京都教区のわたしたちも、この教皇フランシスコの呼びかけに応じて、もっと貧しい人の困難な状況を自分のものとし、貧しい人の視点から教会の生きるべき霊性を見直しましょう。今年は、物質的な貧しさから考察したので、来年は、精神的・霊的な貧しさから考えます。

教皇フランシスコの使徒的勧告『福音の喜び』（2014年、カトリック中央協議会）を読むことをお勧めします。

**2. ブロック司教訪問のプログラム**

**①ブロック訪問の構成（およそ140分）**

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 主日のミサ（60分）<br>休憩 10分 |
| 2. 司教講話（60分）            |

## ②ミサの時間は、

原則、訪問する小教区の通常の日曜日のミサから始まります。

ただし、ブロック訪問のため、特別にミサ時間を変更する場合は、事前に教区本部事務局（大森：E-mail: [honbu@kyoto.catholic.jp](mailto:honbu@kyoto.catholic.jp)）まで、お知らせください。

## ③ブロック内のミサについて

ブロックの事情に合わせて、ブロック内の各教会の主日のミサをするかしないかは、担当司祭の判断にゆだねます。

## ④司教ミサの典礼について

ミサは、その日の「主日の典礼」です。

ミサの準備の中で、年頭書簡のテーマ「貧しさ」に関連して工夫する。

例：共同祈願、歌など。

## 3. 2015年 ブロック司教訪問日程

①	1月11日	洛東ブロック	伏見教会
②	1月25日	京丹ブロック	九条教会
③	2月22日	三重北部ブロック	四日市教会
④	3月1日	奈良ブロック	御所教会
⑤	3月8日	京丹ブロック	丹波教会・亀岡聖堂
⑥	5月17日	滋賀ブロック	唐崎教会
⑦	6月21日	三重南部ブロック	津教会
⑧	6月28日	宮津ブロック	加悦教会
⑨	7月19日	山城ブロック	田辺教会
⑩	7月26日	洛北ブロック	北白川教会
⑪	8月30日	滋賀ブロック	彦根教会
⑫	9月6日	三重南部ブロック	伊勢教会
⑬	9月27日	舞鶴ブロック	東舞鶴教会
⑭	11月8日	奈良ブロック	登美が丘教会

(三重南部ブロック司教訪問 津教会 6月21日に変更になりました。 1月21日付)